

たぐみ

T A K U M I

No.017

平成17年1月●新春号

信州名匠会

(題字：故 池田三四郎 前名誉会長)

平成16年度総会開催

会長に宮本忠長氏を再任。

新顧問に市村次夫氏 (小布施堂社長)

平成16年6月25日、長野市・メルパルクNAGANOにおいて、信州名匠会第12回通常総会が開催されました。

宮本会長はあいさつで「建築関係の団体では、盛んにCPD(継続的な能力開発を行っている人を認証する制度)を始めようとしているが、名匠会ですでに10年間も、定期的な研修会(スリースター制度)を続けてきている。これからも、自分たちで道を切り開いていきたい。全国に名匠会のような活動が広がってほしい」と会員らの努力をねぎらいました。

スリースター制度の認定式のほか、平成16年度の活動計画を審議。新しい顧問に、小布施堂社長で、小布施の町並み修景事業を主導した市村次夫氏を迎えました。今年度事業として、ホームページを開設し、積極的に会の活動内容や理念をPRすることなどを決めました。



61名(懇親会には54名)が出席して開かれた総会



あいさつする宮本忠長会長



左から市川健夫顧問、吉田義男相談役、馬場璋造顧問



顧問の東秀紀氏(左)と市村次夫氏

宮本会長、旭日中綬章を受章

宮本忠長会長は昨秋、旭日中綬章を授章されました。「風土と地域に根ざし、調和した建築」を説いた恩師の早大教授・佐藤武夫氏(1899~1972)の教えを郷土で実践しようと40年前に帰郷して、長野市で独立。小布施の「町並み修景事業」を実現して、まちづくりのあり方のモデルを示してきました。信州名匠会や日本建築士会連合会の会長として、建築の世界を今も先導している実績が、高く評価されたものです。

平成16年度通常総会 記念講演会

「信州の森林的風土と材」

講師 信州名匠会顧問、長野県立歴史館長、東京学芸大学名誉教授、理学博士 市川 健夫 先生

平成16年度通常総会当日に開催された記念講演会で市川先生は、「信州の森林的風土と材」と題して語りました。ご専門は人文地理学・地誌学。ブナ帯文化論・青潮文化論の提唱者として知られています。先生のご著書（『ブナ帯と日本人』講談社）から、演題に関係する文章を引用してご紹介します。

○研究者としての原点：私は信州の善光寺平（長野盆地）の東縁、小布施町に生まれた。この町には、栗やリンゴ林が多く、ツルゲーネフの『獵人日記』を思わせるような風景が見られる。これらの果樹は、ブナ帯を代表する作物である。私は幼年の頃から、こうした小布施の風土に強い関心を抱き、少年時代から周辺の志賀高原や菅平の気候・景観に魅せられて育った。



○ブナ帯：わが国では中央高地から東北地方・北海道にかけて、ブナ・ミズナラを中心とするブナ林帯が広く分布している。そこには縄文時代以来、ブナ帯独特の農耕文化・生活文化が育まれていた。稲作中心の照葉樹林文化を基盤とするヤマトの政権が東漸するまでは、東北地方には独自の政権（奥州平泉の藤原四代）が存在し、豊かな文化を築いていた。

○落葉広葉樹は経済林：第二次大戦後の経済の高度成長のもと、林政関係者は、ヒノキ・杉などの人工林を「経済林」として、その植林を奨励した（拡大造林）。一方、コナラ・クヌギなどの落葉広葉樹林や、シイ・カシなどの常緑広

葉樹林を「不経済林」として、その解消に努めてきた。針葉樹の大規模な造林は、森林生態にも大きな変化をもたらしている。広葉樹の葉枝や堅果類は、野生動物の餌になっているが、その伐採とともに動物たちの生活エリアが狭まり、人工林に対する食害が頻発している。「経済林」と「不経済林」という区分は、経済の高度成長期における「拡大造林」政策の中から生まれてきた。しかし森林形態から見て、その区分は再検討しなければならないし、何よりミズナラやブナは、本来「経済林」であったはずなのである。

○「雑木」ではない：落葉広葉樹林が農用林野として重要だった江戸時代においては、農民の間に「雑木林」という観念はなかった。現在の日本で美林といわれるものは、いずれも天然の針葉樹林である。しかし「雑木林」である落葉広葉樹は、資源的に見て極めて貴重な存在であり、中でもミズナラのごときは、世界で最高の家具材としての評価も与えられている。何より広葉樹の水涵養力は、針葉樹の3～5倍にも及び、保安林としての役割も大きいのである。日本の四季を彩る新緑と紅葉は、落葉広葉樹のもつ美しい景観である。

『信州学大全』を発刊

市川先生はこのほど、信州の自然と歴史、文化をまるごと1冊にした、読む長野県の百科事典といえる本『信州学大全』（信濃毎日新聞社）を発刊されました。「市川信州学の集大成」とされる本です。すでに完売しています。図書館などでご覧ください。

信州名匠会員より、あいついで吉報

■小林清英さん、表具業界のトップに

（株）清蘭堂の小林清英さんは昨年6月、表具業界の全国組織である「全国表具経師内装組合連合会」の会長に就任しました。日本の伝統文化である表具・襖・内装の三つの部門により構成された業界団体です。日本の和の伝統文化を守りつつ、洋風の生活スタイルへの新しい対応を進めている業界のリーダーとして、活躍が期待されています。

■坂戸雄世さんは長野市景観賞

（有）サカト産業の坂戸雄世さんは昨年11月、長野市景観賞を受賞しました。魅力ある景観を表彰する賞で、今回で17回目。応募（推薦）55件の中から4作品が厳選されました。坂戸さんの作品は、長野東町の高橋邸。受賞理由として「古くからの商家で、既存の土蔵のイ

メージを大切に、全体を伝統的な外観で統一した。外構計画も、道路に面する玄関アプローチ、駐車スペース、草木をバランス良く配置し、町並みに配慮している」と評されました。

■「信州の名工」に水沢仁亮さん

賛助会員・（株）二見屋の水沢仁亮さんは昨年11月の職業能力開発促進月間に、平成16年度の長野県卓越技能者「信州の名工」として知事表彰を受けました。卓越した技能を有し、県内産業の発展に顕著な功績があった22名が表彰されました。水沢さんは建築板金工として、寺社建築や住宅など数多くの優れた施工実績をもち、若い後進の育成など業界のリーダーとしての貢献が認められたものです。

■10コ星1名、9ツ星2名、8ツ星1名 の新認定者が誕生

～スリースター制度規認定者紹介～

「スリースター制度」は、月1回の定例研修会に熱心に参加している会員の努力をたがいに認めあい、その誇りを励みに日々の仕事を高めあおうと、平成11年に創設されました。研修会へ1回出席するごとに1単位を加算し、10単位で星1つを与えます。開始から5年を経て、今年度は10コ星認定者1名をはじめ1ツ星までの新規認定者37名が誕生し、通常総会において認定証を授与されました。貴重な研さんのお場である定例研修会への、会員諸氏の精力的な参加に、ますます期待が高まっています。

◆「スリースター制度」平成15年度認定者

(平成16年6月現在、五十音順、敬称略。○は今年度の新規認定書授与者)

☆☆☆☆☆☆☆☆認定者(10コ星1名)
○西澤嘉雄／(株)宮本忠長建築設計事務所

☆☆☆☆☆☆☆☆認定者(9ツ星2名)
○堀誠／堀建築設計事務所
○坂田守夫／坂田工業(株)

☆☆☆☆☆☆☆☆認定者(8ツ星1名)
○五明良平／(株)五明

☆☆☆☆☆☆☆☆認定者
(7ツ星 本年度認定者なし)

☆☆☆☆☆☆☆☆認定者(6ツ星2名)
○岸本貴志／(株)本久
○中村光敬／(有)中村木工所

☆☆☆☆☆☆☆☆認定者(5ツ星5名)
宮下恒夫／サンコー特機(株)
水沢仁亮／(株)二見屋
○西宮登喜男／(有)綿内瓦工業
○伊藤章／(有)アキ・プランニング
○宮本忠長／(株)宮本忠長建築設計事務所

☆☆☆☆認定者(4ツ星5名)
小川明／建築工房空
○高梨廣男／(有)高梨建築
○山本耕平／長野サウナ販売(株)
○鈴木隆／ルームデザインハウス
○竹内公夫／(株)ビホームビホームテクノクリエート

☆☆☆☆認定者(3ツ星11名)
宮澤郁夫／宮澤建築
渡辺昌祺／渡辺硝子建材(株)
○樋口豊／(株)ライフエンジニアリング
大井芳也／(株)山二
○町田幸一／(株)町田電気商会
○鎌倉良収／(株)鎌倉材木店
○吉田雅彦／(有)スタジオスペースツ
岡澤元彰／(株)本久
○増田幸雄／匠建設(株)
○宮川裕行／三ツ友建築企画
○倉橋英太郎／(株)倉橋英太郎建築設計事務所

☆☆認定者(2ツ星14名)
久保敏幸／(株)さつき苑
池内信二／(株)山翠舎

○高木茂実／松田産業(株)
溝端利一／MEデザイン室
関克弘／坂田工業(株)
田幸康信／(株)電弘
井内八雄／(株)井内工務店
山崎邦男／山崎工務店
大庭修／(株)トライアン
上別府志郎／石材彫刻家
高波和由／キャスト(株)
○藤森吉三／(株)藤森鉄平石
○山田一忠／インテリア販売ヤマダ
○宮崎三雄／(有)アルファ測量設計

☆認定者(1ツ星24名)
山中袈裟嗣／山中桐箱店
矢島建二／(株)矢島工務店
関野和人／(有)アーキクラフト
山崎慎一郎／(有)山崎屋木工製作所
○海野政也／(有)海野鉄筋工業所
柳沢邦夫／(有)柳沢木工所
平沢真司／平沢塗装店
坂戸雄世／(有)サカト産業
○佐藤満博／(株)二見屋
松下重雄／(有)みすゞ設計
東出輝彦／ステンドグラス作家
○岩井秀樹／岩井工業(株)
○中村泉／(有)ビーイング
○常田亀久夫／(株)菅平土建
○藤沢和裕／(株)山二
○藤澤浩志／(株)シンテック北信越支店
○神主英子／(株)新建新聞社
○北野喜久／(株)角藤
塚田廣実／塚田住建
五十嵐厚生／(株)井内工務店
○山崎博之／(株)I N A X長野営業所
○太田光雄／(株)岩野商会
○村越久子／雪しろ窯
○降幡廣信／(株)降幡建築設計事務所

平成16年度 信州名匠会 年間スケジュール

A:学習 B:見学・実習 C:交流

平成16年

6月25日(金) 通常総会・講演会・懇親会
7月28日(水) 第1回研修会「宮本会長のほなし」A
8月25日(水) 第2回研修会「鋼材の基礎知識」A
9月4日(土) 親睦ゴルフ大会 C
9月29日(水) 第3回研修会「現場見学」B
10月27日(水) 第4回研修会「日本刀の魅力」A
11月6～7日(土、日) 研修旅行「神奈川県の建築見学」A、B、C
12月22日(水) 第5回研修会「ホームページ研究」A

*研修会 場所:長野会場(株)宮本忠長建築設計事務所 松本会場(株)降幡建築設計事務所 時間:18:30～20:30
*研修内容・場所・日時については変更もあります。

平成17年

1月26日(水) 新年会 C
2月23日(水) 第6回研修会「技術講習会」B
3月30日(水) 第7回研修会「降幡副会長のはなし」A
4月23日(土) 第8回研修会「制作教室」B、C
5月25日(水) 第9回研修会「現場見学」B
6月22日(水) 平成17年度 通常総会

◆親睦ゴルフ大会、町田さんが優勝◆

恒例の親睦ゴルフ会は昨年9月3日、信濃ゴルフ倶楽部で開かれ、(株)町田電気商会の町田幸一さんが優勝しました。
参加者はつぎの通りです(敬称略、順不同)。鎌倉良収／(株)鎌倉材木店、左右田光／インテック左右田、西宮登喜男／(株)綿内瓦工業、新井庄市郎／(株)新建新聞社、坂田守夫／坂田工業(株)、岸本貴志／(株)本久、内山保／朝陽工芸(有)、関嘉彦／東洋設備工業(株)、吉田雅彦／(有)スタジオスペースツ

吉岡文庫育英会より本年度も研究補助金20万円

定例総会の席上、新建築社・吉田義男会長（信州名匠会顧問）より、(財)吉岡文庫育英会の研究補助金として20万円が信州名匠会に給付されました。同育英会からの給付は、6回目で総額130万円に。名匠会では育英会と補助金の趣旨が未永く反映されるような活用方法を検討しております。心より感謝を申し上げます。

平成15年度 信州名匠会 事業報告

平成15年

6月24日(火)「たくみ」No.14 初夏号 発行
 6月25日(水)第11回通常総会・講演会・懇親会
 6月26日(木)親睦ゴルフ大会(信濃ゴルフ倶楽部)参加者 14名
 7月30日(水)第1回研修会「建築士制度及び善光寺一山と世界遺産
 について」参加者 33名
 8月29日(金)平成15年度第一回理事会
 8月29日(金)第2回研修会 「大工仕事について」参加者 30名
 9月14日(日)～23日(火)「建築家 林 雅子展・長野」に協力
 9月24日(水)第3回研修会「松本市民会館改築事業工事現場見学会」
 参加者 29名
 10月30日(木)第4回研修会「左官業にたずさわって」参加者 22名

11月 8～9日(土、日)研修旅行「愛知県の建築」参加者 27名

12月19日(金)忘年会(花満月)参加者 24名

平成16年

1月27日(火)新年会(四川楼)参加者 36名

2月15日(日)「たくみ」No.15 新春号 発行

2月27日(金)第5回研修会 「木造建築における建築基準法改正に
 による構造補強金物の見直し」参加者 21名

3月30日(火)第6回研修会 「現存民家の将来展望について」
 参加者 26名

4月24日(土)第7回研修会 第一部「写真撮影教室」参加者 19名
 第二部「陶芸制作」参加者 18名

5月29日(土)第8回研修会 「別荘建築の見学」参加者 27名

定例研修会●Report

(平成16年5月～10月)

平成15年度第8回研修会 【別荘建築見学会】

平成16年5月29日、軽井沢

講師：宮本忠長建築設計事務所 西澤嘉雄氏

参加者：27名

「周辺環境になじむ建築」

軽井沢町で完成間近の別荘建築(設計:宮本忠長建築設計事務所、施工:(株)内組・白田町)を見学しました。

建物は、地盤改良を施した上に大小二棟を配置。軽井沢特有の多湿な環境でも快適性を



敷地の起伏を活かした別荘の外観を見る参加者

高められるよう、基礎部分を高くし、居住部分は高床の設計として通風に配慮しています。建物外観は木材に造詣のある施主の好みに配慮し、五寸幅の米松(ピーラー)を壁材として採用しています。木材のくろいが生じにくいよう、すべて柱材を縦張り使用しています。建物の平面計画では、五尺を一間とする設計を行っています。

寒冷地のディテールにも配慮がなされ、氷柱がでにくいよう屋根の縁を鋭角にしています。巧みな設計手法や斬新なアイデアに参加した会員は感心した様子で、建物を見て回りました。

平成16年度第1回研修会 【みんなでなんでも話そう、120分】

平成16年7月30日、宮本忠長建築設計事務所

参加者：17名

「あたらしい試み」

趣向を変えて座談会形式で行いました。井内副会長より、最近の建築業界、ことに職人についての話が出ました。若者の育成の大切さ、ゼネコン(元請)の請負金額の低さなど、名匠会が発足した当時からの問題がより深刻化している状況

が浮き彫りとなりました。職人が十分な力を発揮できる良い仕事と、それに対する適正な単価の設定が必要であること。また信州名匠会として職人の後継者育成に対する施策を立てる必要が感じられました。



茶菓をいただきながら和やかな雰囲気、様々な話題が語られました

最近長野周辺でも続発している屋根修理や塗装の悪徳業者の話なども聞かれました。屋根を無料調査すると言って、屋根に登り自ら屋根を破壊し、実勢価格の何倍もの価格を持ち出すなど、手口は巧妙化しています。防災機器を扱うサンコー特機(株)の宮下さんからは「自宅へ消火器を売りに来た」との笑い話も聞かれました。

平成16年度第2回研修会 【鋼材の基礎知識】

平成16年8月31日、宮本忠長建築設計事務所

講師：(株)角藤鉄鋼事業部 滝沢俊介氏、北野喜久氏

参加者：30名

「鋼材の基礎から市場動向まで」

まず滝沢氏より建築鉄骨工事の施工要領書をもとに、品質管理面について、つぎに北野氏より鋼材の種類などにつ



いてお話しいただきました。

鉄骨工事の全体の流れは、鉄骨業者は元請の建設会社の下請けとして建築工事に携わります。また鉄鋼メーカーから原材料となる鋼材を購入し、それを加工し納品する仕事です。

現在、鋼材業界を巡っての一番の関心事として鋼材価格の急騰があります。中国への輸出量の急増により、国内在庫が不足。鉄骨造を鉄筋コンクリート造に設計変更する事例も出てきています。材料が無い→加工できない→工期が間に合わない→鉄骨造としない→仕事なくなる。こうした悪循環に最も危機感を抱いているそうです。

質疑では、「溶接加工の職人が一人前になるまでの期間は」との問いに、入社後半年ほどで基礎となる溶接資格(下向き溶接)を取得、その後10年程度をかけて様々な溶接に対応できる溶接工となるとの答えでした。

平成16年度第3回研修会 【設計業界時事レポート】

平成16年9月30日、宮本忠長建築設計事務所
講師：宮本忠長氏(信州名匠会会長)
参加者：29名

「設計入札という悪弊」

まず、設計入札でのダンピング問題について。東京の大手組織設計事務所によるダンピングは地方へも波及しかねない状況です。宮本会長は、低価格での応札は建築設計の質の低下につながるだけでなく、設計士、建築家のモラルが問われていると語りました。



一方で、ダンピングが明らかな入札に応じる行政の姿勢にも、会長は厳しく言及。「設計の技術や提案力を求めることが本当の意味での公共の利益につながる」と指摘しました。設計者も自らの質を保つため、必要な設計料の根拠を明確に示していく必要性を強調されました。

長野県内の公共工事設計発注の状況や、県が設計入札に代わって行っている公募型プロポーザルの実態について説明。最後に、自治体が行う「まちづくり」の望ましい発注方式として、自治体がマスターアーキテクトを委嘱し、マスターアーキテクトの提言をもとに様々な景観育成、環境整備といったプロジェクトを進めるかたちをあげました。宮本会長は現在中野市中町地区のまちづくりに参画されており、より良いまちづくりについて地域住民との会話などにより検討を重ねています。信州名匠会の様々な職種を活かして「まちづくり」事業を行っていきたいと結びました。

平成16年度第4回研修会 【日本美術の夜明けと、表具修理の手法】

平成16年10月27日、四川楼(三井ガーデンホテル)
講師：(株)清蘭堂社長・信州名匠会会員 小林清英氏
参加者：29名

「日本美術の夜明け～岡倉天心～」

小林氏は、造詣の深い岡倉天心と、本業の表具の修理についてお話いただきました。研修会終了後は小林氏の全国表具経師内装組合連合会の会長就任を祝う会を開きました。

小林氏は、日本美術が大きく発展した明治期、岡倉天心(1862-1913)が、急激な西洋化の荒波が押し寄せる時代の中で、日本の伝統美術の優れた価値を認め、近代日本美術の発展に大きな功績を残したことを紹介。日本の近代化政策で招聘されたアーネスト・フェノロサの影響、東京美術学校(現在の東京芸術大学)の開校、横山大観や下村観山、菱田春草ら気鋭の作家の育成など、優れた日本美術を創りあげた天心への熱い思いが感じられました。



後半は表具師(ひょうぐし)・経師(きょうじ)について。小林氏はとくに、掛け軸などの修復を手がけられ、お仕事の中には文化財級の物も少なくないとのこと。スライドを見ながら緻密で繊細な作業の様子を語っていただきました。修復が終わった掛け軸は、やはり本会会員の山中桐箱店さんが作られた箱に収めてお返しするとのこと。名匠会会員の手により、優れた美術品が後世へと引き継がれていく瞬間が、垣間見られました。

研修会で制作の陶芸と写真作品を展示



会員や家族の陶芸と写真の作品が並んだアートギャラリー

総会会場では、4月の定例研修会にて、武石村の「雪しろ窯」で行われた恒例の陶芸教室と、同時開催された写真教室の参加者の作品が「アートギャラリー」として展示され、華を添えました。今年も傑作には「宮本会長賞」、「村越久子賞」などそれぞれ賞が贈られました(敬称略)

【陶芸】(指導 村越久子氏) ○宮本会長賞 神主英子／(株)新建新聞社 ○村越賞 坂田守夫／坂田工業(株)
○馬場賞 岸本唯 ○吉田賞 西澤嘉雄／(株)宮本忠長建築設計事務所 ○東賞 高橋典子
○市川賞 五明良平／(株)五明
○降幡副会長賞 山本耕平／長野サウナ販売(株) ○井内副会長賞 西澤麻理

宮本会長賞に輝いた神主さんの作品

【写真】(指導 吉田雅彦氏) ○丸山隆敏／齋藤木材工業(株)
○銀賞 西澤嘉雄 ○銅賞 高木茂実／松田産業(株)、佐藤満博／(株)二見屋 ○特別賞 北野喜久／(株)角藤

会員の動向 (平成15年3月以降、平成16年10月現在。敬称略) 職種・氏名・会社名・住所・TEL

- 【新会員・個人会員】 ○大工・藤田勇・藤田建築・〒386-0406小県郡丸子町大字下丸子1-5・0268(43)2016
○紙器製作・山岸博行・(有)山岸紙器製作所・〒381-0045長野市桐原2-5-5・026(243)6766
【退会・賛助会員】 ○(株)シンテック北信越支店・担当 藤沢浩志・〒382-0047須坂市幸高97 フジザワビル3F・026(242)7331